

大原美術館

OHARA MUSEUM OF ART



大原美術館について

大原美術館は、1930(昭和5)年に、その前年に逝去した画家の児島虎次郎(1881~1929)の業績を記念するために、大原孫三郎(1880~1943)が創設したものです。

大原孫三郎は倉敷紡績などを経営する実業家であるとともに、数多くの非営利で公益性の高い事業を手がけました。その経済的支援を受けていた児島虎次郎は、孫三郎の社会貢献活動への寄与を願い、西洋の優れた作品収集を行うことを提案して、これを実現します。こうして1920年代初頭に児島が西洋諸国を巡って収集しました。それらは、エル・グレコ、モネ、ゴッティン、マティスなど優れた作品を核として、現在でも日本を代表する西洋美術コレクションです。児島の逝去を受け、その収集品と児島自身が描いた作品を公開するために創設された美術館を、さらに飛躍させたのが孫三郎の嫡子大原総一郎(1909~1968)でした。

第二次大戦の混乱が収まらぬ時期から、総一郎は積極的にコレクションを拡充し、西洋や日本の同時代の前衛的な作家の作品や、日本の近代洋画を収集します。また孫三郎以来、深い親交を持った日本民藝運動の主導者たちの展示室を増設してゆきます。さらに児島虎次郎が収集していたエジプトやオリエント、中国の古美術品の収蔵品も充実させ、総合的な美術館へと発展させます。さらに近年は、日本の現代美術を担うアーティストが大原美術館のための制作した作品を積極的に収蔵しています。



大原美術館

ようこそ大原美術館へ
ごゆっくりお楽しみくださいませ

開館時間/9:00~17:00 (入館締切16:30)

分館



お知らせとお願い

■入館券にて4館(本館/分館/工芸・東洋館/児島虎次郎記念館)をご覧いただけます。

■具合が悪くなられた方は、休憩場所がございますので、スタッフにお申し出ください。

■授乳が必要な方はお近くのスタッフにお申し出ください。

■ベビーカー・車椅子の貸し出しを行っております。必要な方は手荷物預りにお申し出ください。
なお、数に限りがございますので、その点ご了承ください。

■館内ではご観覧の際、下記の点につきまして、なにとぞ協力お願い申し上げます。



撮影禁止



携帯電話使用禁止



メモ等は鉛筆もしくはシャープペンシルをご使用ください。



飲食禁止



作品には触れないようにしてください。
(作品保護のため)



お話は小さな声でお願いします。

・その他、ご不明の点等ございましたらお気軽にお近くのスタッフにお尋ねください。

児島虎次郎記念館

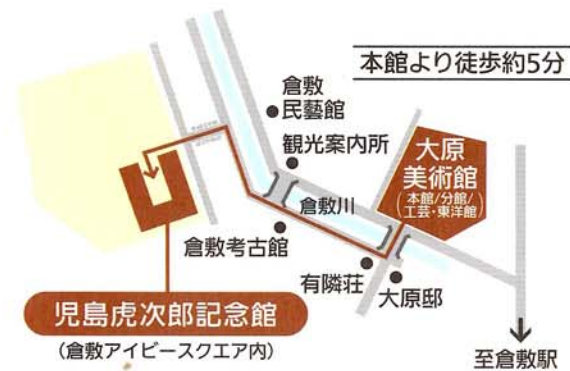


児島虎次郎記念館では、児島虎次郎の作品と、児島が収集した品を中心とした古代エジプト、オリエントなどの考古美術品をご覧いただけます。児島は、大原美術館の礎となる西洋絵画コレクションを収集したことで知られますが、画家としても優れた作品を多数描き高い評価を受けています。

児島虎次郎記念館

(倉敷アイビースクエア内)

本館より徒歩約5分



本館



工芸・東洋館



大原美術館

ミュージアムショップ

営業時間/9:00~17:30
(出口ショップと分館ショップは17:00まで)



ここでしか手にはらないオリジナル商品を取りそろえています。

【本館】Main Gallery

エル・グレコ《受胎告知》と、西洋近現代の絵画と彫刻



エル・グレコ
《受胎告知》



ポール・ゴーギャン
《かぐわしき大地》



アメデオ・モディリアーニ
《ジャンヌ・エビュテルヌの肖像》



クロード・モネ
《睡蓮》



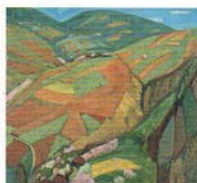
パブロ・ピカソ
《頭蓋骨のある静物》

【分館】Annex

日本の近代洋画から現在活躍する作家達の作品



小出楯重《Nの家族》



藤島武二《耕到天》



関根正二《信仰の悲しみ》

【工芸・東洋館】Craft and Asian Art Gallery

工芸館は日本民藝運動に関わる濱田庄司、バーナード・リーチ、富本憲吉、河井寛次郎、棟方志功、芹沢銈介、東洋館には中国古美術品



河井寛次郎
《三色釉扁壺》



バーナード・リーチ
《鉄絵抜絵文大皿》



棟方志功
《鷹持妃板画櫃》



《一光三尊仏像》

貸し出しや保存のため展示していない作品もございます。

周辺地図



大原美術館

〒710-8575 岡山県倉敷市中央1-1-15

TEL.086-422-0005 FAX.086-427-3677

http://www.ohara.or.jp/ E-mail:info@ohara.or.jp